

各府県市の産業振興担当の連絡先一覧

府県市	名称	問い合わせ先 URL
滋賀県	商工観光労働部 商工政策課	TEL:077-528-3712 fa0001@pref.shiga.lg.jp https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/soshiki/shoukougankouroudoubu/shoukouseisakuka/index.html
京都府	商工労働観光部 産業労働総務課	TEL:075-414-4820 E-mail:sanroso@pref.kyoto.lg.jp https://www.pref.kyoto.jp/info/gyosei/soshiki/081/index.html
大阪府	商工労働部 商工労働総務課	TEL:06-6210-9294 E-mail:sangyo@kouiki-kansai.jp https://www.pref.osaka.lg.jp/shokosomu/
兵庫県	産業労働部 総務課	TEL:078-362-3351 E-mail:sangyou_soumu@pref.hyogo.lg.jp https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/sangyo-somu/index.html
和歌山県	商工観光労働部 商工労働政策局 商工観光労働総務課	TEL:073-441-2725 E-mail:e0601001@pref.wakayama.lg.jp http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/060100/
鳥取県	商工労働部 商工政策課	TEL:0857-26-7538 E-mail:shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp http://www.pref.tottori.lg.jp/shoukouseisaku/
徳島県	商工労働観光部 商工政策課	TEL:088-621-2315 E-mail:syoukouseisakuka@pref.tokushima.jp http://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/soshiki/shoukouroudoukankoubu/syoukouseisakuka/
京都市	産業観光局 産業企画室	TEL:075-222-3325 E-mail:sangyokikaku@city.kyoto.lg.jp https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki_list.html
大阪市	経済戦略局 産業振興部 産業振興課	TEL:06-6615-3761 E-mail:ga0006@city.osaka.lg.jp http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/index.html
堺市	産業振興局 産業戦略部 産業企画課	TEL:072-228-7414 E-mail:sanki@city.sakai.lg.jp http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gaiyo/annai/gyoseikiko/sangyo/shoko/sansei.html
神戸市	経済観光局 経済政策課	TEL:078-984-0330 E-mail:etb_kikaku@office.city.kobe.lg.jp https://www.city.kobe.lg.jp/a31812/shise/about/construction/soshiki/1400/1400/1403.html

関西広域連合

関西広域連合は、平成22年12月1日に府県域を越える全国初の広域連合として設立された特別地方公共団体です。「国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西」、「個性や強みを活かして、人の環流を生み出し、地域全体が発展する関西」、そして「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」の実現を目指します。

- 人口 2,170万人 (対全国シェア17.3%)
- 面積 35,006km²
- G R P 93.9兆円 (対全国シェア16.2%)
- 事業所数 1,147,613社 ●輸出入貿易額 34.4兆円
- 大学 158校

注:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県の合計。
資料:総務省「人口推計」(令和3年10月1日現在)、国土交通省「令和4年全国都道府県市区町村別面積」、
内閣府「国民経済計算」(令和元年度)、総務省「経済産業省」(令和元年度経済センサス)、大阪税関「貿易統計」
(令和3年分)、神戸税関「貿易統計」(令和3年分)、文部科学省「令和3年度学校基本調査」



関西広域連合 広域産業振興局

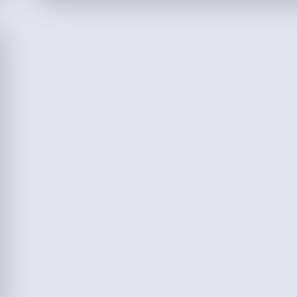
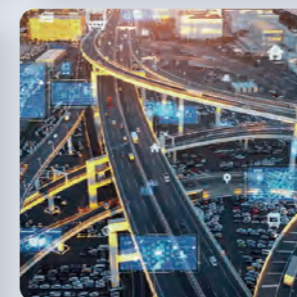
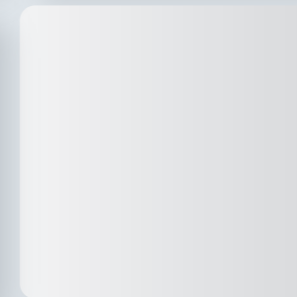
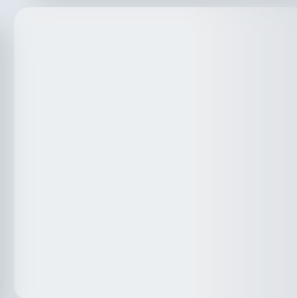
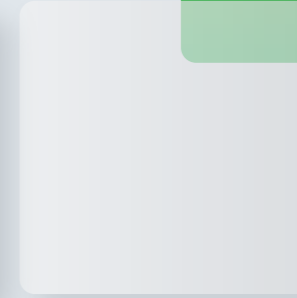
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1丁目14番16号 大阪府商工労働部 商工労働総務課内
TEL 06-6614-0950 FAX 06-6210-9481 E-mail sangyo@kouiki-kansai.jp
http://www.kouiki-kansai.jp



広域産業振興局HP



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS



未来を切り拓く
関西の産業ポテンシャル

イノベーション関西

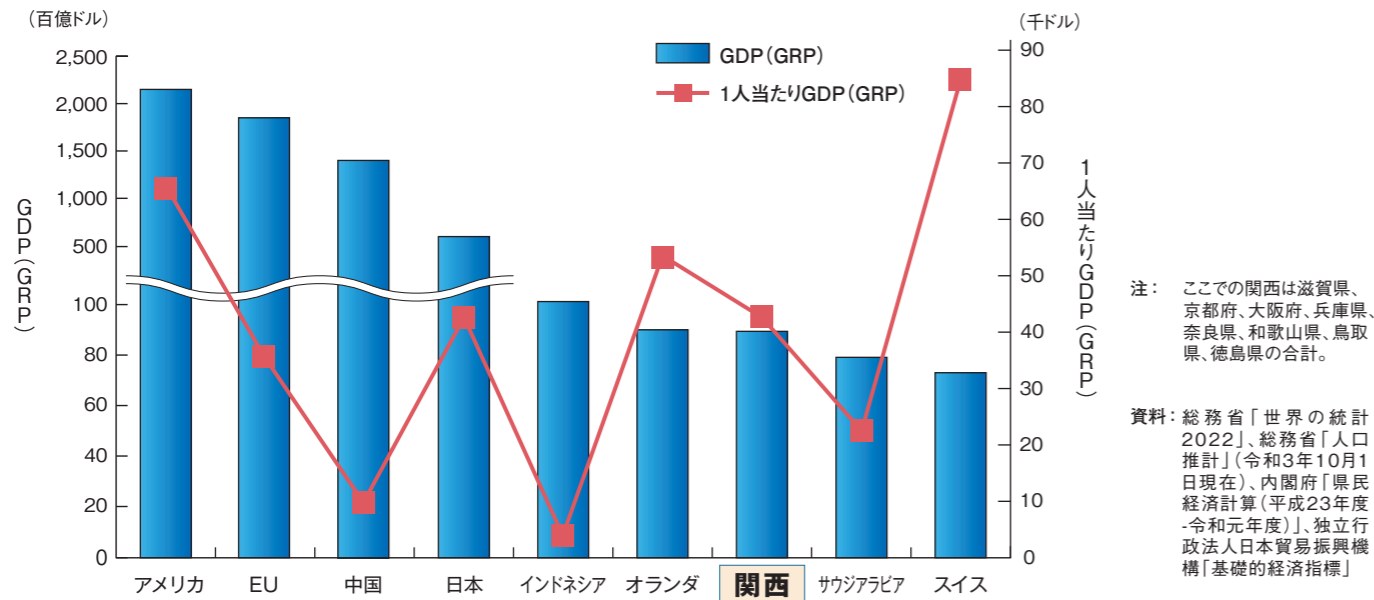


関西経済の特徴・ポテンシャル

◇関西の経済規模

関西は、約94兆円(対全国シェア16.2%・2019年)の付加価値を生み出し、オランダに匹敵する経済規模を有しています。
また、約2,200万人(同17.3%・2021年)の人々が暮らす、大きな消費市場でもあります。

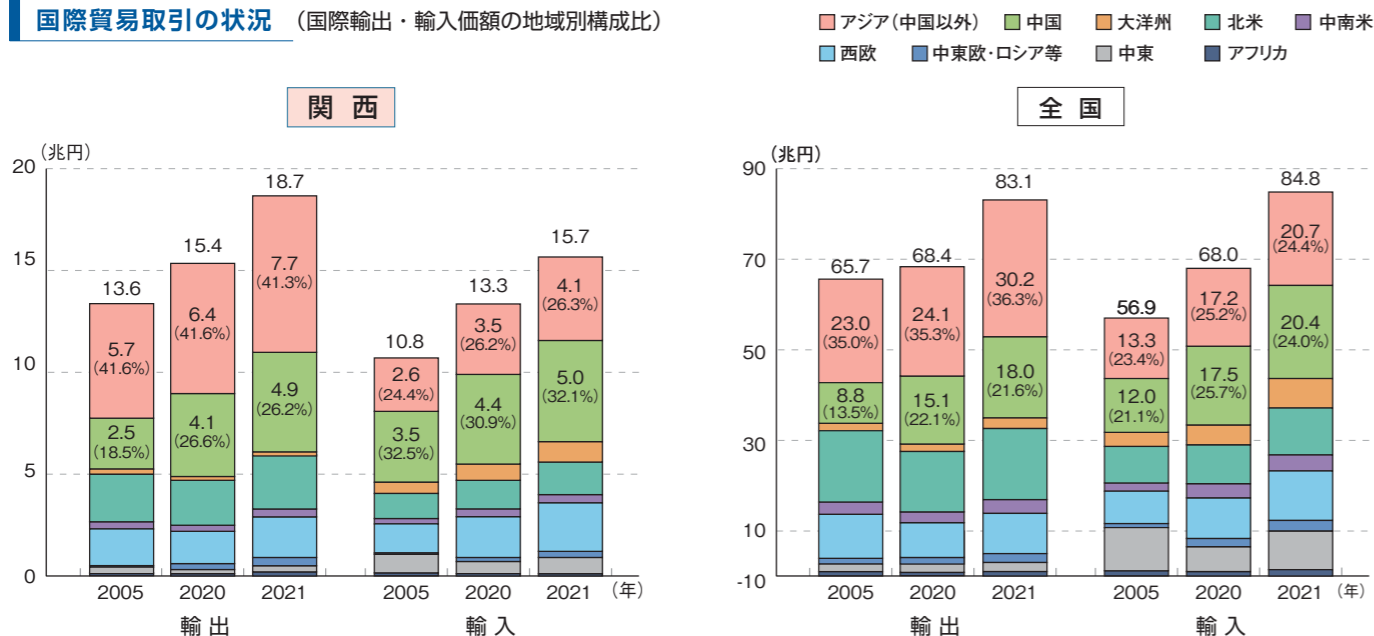
主要国とのGDP比較



◇アジアとの結びつきが強い関西経済

海外との結びつきを見ると、関西の対アジア向けの輸出のシェアは他の経済圏より抜きん出て高く、2021年には輸出価額の約7割、輸入価額の約6割をアジアが占めています。

国際貿易取引の状況 (国際輸出・輸入価額の地域別構成比)



◇多様な産業の集積

国内有数の歴史・文化資源や豊かな自然環境に育まれた産業資源に恵まれる中、伝統産業から最先端製品に至る幅広いものづくり産業とこれを支えるサポーター・インダストリー(ものづくり基盤技術)や、デザイン・コンテンツをはじめとするクリエイティブ産業などの多様な産業が集積しています。

関西の工業集積



◇「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の開催

2025年に大阪、関西で「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博が開催されます。大阪・関西万博では、「未来社会の実験場」のコンセプトのもと、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成や日本の国家戦略Society5.0の実現に貢献する共創(Co-creation)の場となることを推進します。大阪・関西の地に世界の最先端技術が結集し、新たなアイデアが生み出されるなど、イノベーションの創造につながることを期待されます。



◇関西発の新品・新サービスの事例

1902年	渦巻き型蚊取り線香(大日本除虫菊・大阪) マラリア等、蚊が媒介する病気の予防に大きく貢献。渦巻きにしたことが画期的。	1958年	チキンラーメン
1912年	“笑い”をビジネスに(吉本興業・大阪) 女性起業家の先駆けとして、日本で初めて“笑い”をビジネスにした。今では、アジアで幅広く展開するエンターテインメント企業に成長。	1971年	カップヌードル(日清食品・大阪) 今なお世界中の多くの国で食べられ、食生活の向上に寄与。
1958年	回転寿司(元禄寿司・大阪) 日本食の代表である寿司が、回転寿司としてオープン。世界中で楽しめるようになった。	1967年	自動改札システム(立石電機(現:オムロン)・京都) 電気・電子技術と機械機構の融合から生まれたわが国の機械技術の粋。大量輸送を実現し都市の近代化に貢献。
		2002年	近大マグロ(アーマリン近大・和歌山) 世界ではじめてクロマグロを完全養殖。マグロ資源の減少を防ぎ、人気のマグロの大量生産が可能に。

資料: 近畿経済産業局「2021 INVEST JAPAN, INVEST KANSAI」

◇関西に進出している外資系企業の例

企業名	親会社の国籍	事業内容	企業名	親会社の国籍	事業内容
アストラゼネカ株	イギリス	医療用医薬品の開発・製造・販売	ネスレ日本株	スイス	飲料、食料品、菓子、ペットフード等の製造・販売
ショット日本株	ドイツ	気密端子、温度ヒューズ等の電子・電気部品の開発・製造・販売、特殊ガラス材料およびガラス製品の販売	バイエル薬品株	ドイツ	医薬品、医療機器の開発・輸入・製造・販売
ダイスター・ジャパン株	シンガポール	染料の製造・販売・輸出入	P&Gジャパン合同会社	アメリカ	日本における洗濯洗剤関連製品、紙製品、医薬部外品、化粧品などの研究開発、販売、輸出入
日本イーライリリー株	アメリカ	医薬品の製造、輸入、販売、研究開発等	ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの企画・運営、商品販売、飲食販売等	同ユニ・エス・ジェイ	アメリカ

資料: 2022年版 外資系企業総覧

研究開発を促進する様々な産学のネットワーク、マッチングシステムに加え、円滑かつ迅速な事業化を支援する体制が整っており、さらに、産業活動を支える高度な産業インフラやバイオベンチャー企業等の目的・成長に合わせた特色のあるインキュベーション施設により優れたビジネス環境を提供します。

◆優れたビジネス環境

医療機器相談 (関西広域連合)

ものづくり企業やベンチャー企業等の医療機器分野への参入や医療機器開発、製造販売を支援するため、専門相談員が薬事関連をはじめとする様々な相談に対応しています。



次世代医療システム産業化フォーラム (大阪商工会議所)

大阪商工会議所では2003年に「次世代医療システム産業化フォーラム」を設置し、医工連携活動や事業化支援、さらには欧米、アジアとのグローバルネットワークを活かして、国内のみならず、将来的に海外市場もターゲットとした医療機器等の開発や事業化を促進しています。



医薬品専用共同定温庫 (KIX-Medica) (関西国際空港)

国内初、空港内に設置。他の保管庫から完全に隔離された環境を提供。飛行機と定温庫間は、専用の保冷搬送器具を用いることで、真夏の炎天下など厳しい条件のなかでも、温度管理が徹底されます。



日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬事業部創薬企画・評価課 (西日本統括部) (iD3)

創薬支援推進事業・創薬総合支援事業(創薬プースター)では、創薬事業部が策定した知財戦略、研究戦略に基づき、理化学研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所、産業技術総合研究所等の創薬支援ネットワーク構成機関が保有する創薬技術や設備等を活用し、HTS、構造最適化、非臨床試験等を切れ間なく支援します。また、創薬支援推進事業・創薬総合支援事業(創薬プースター)によって得られた成果については、確実に医薬品としての実用化につなげるため、創薬事業部が製薬企業等への導出等に係る支援を行います。



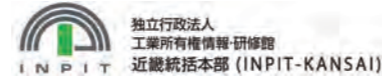
創薬シーズ・基盤技術 アライアンスネットワーク (DSANJ) (大阪商工会議所)

日本全国のアカデミア、バイオベンチャーの創薬シーズ・基盤技術等の研究・開発成果を、収集、評価、編集した上で製薬企業に紹介することにより、日本の創薬を促進するプログラムです。



知的財産の保護・活用支援 ((独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部 (INPIT-KANSAI))

INPIT-KANSAIでは、(1)知的財産に関する高度・専門的な支援、(2)高度検索用端末による産業財産権情報の提供、(3)出張面接・テレビ面接の開催などユーザーの多面的なニーズに応える支援を実施し、中堅・中小企業、ベンチャー企業の知的財産を活用した事業展開やビジネスの成長をサポートします。



薬事等に関する相談 (医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部)



関西支部における初期的相談対応

PMDAでは、主に大学・研究機関、ベンチャー企業を支援するため、医薬品等のシーズの製品化に向けた開発戦略等に関する指導・助言 (RS総合相談、RS戦略相談 (事前面談・対面助言)) を行っています。「RS」:レギュラトリーサイエンス

■関西支部では、これらの指導・助言のうち、初期的相談対応として、RS総合相談とRS戦略相談 (事前面談) を実施しています。

▶RS総合相談は、関西支部 (グランフロント大阪内) の他、PMDA戦略相談連携センター (神戸市) でも月1回実施

▶両相談の実施に係る相談手数料は不要!

上記以外の、より専門的な相談等の実施を希望される場合は、テレビ会議システム (右欄) をご活用ください!

関西支部テレビ会議システム

■関西支部では、テレビ会議システムで東京本部と接続することにより、薬事に関する専門的な相談や市販後相談等 (下表の相談区分欄) を実施することが可能です。

■同システム利用の際、相談手数料に加え、システム利用料が必要ですが、全ての利用者を対象に、以下のとおり利用料の軽減を実施しています。

相談主体	相談区分	利用料
大学・研究機関、 中小ベンチャー企業*	○RS戦略相談 (対面助言) ○治験相談 ○承認審査初回面談等	28万円⇒0円
上記以外		28万円⇒14万円
相談主体問わず	○安全対策相談	7万円⇒3万5千円

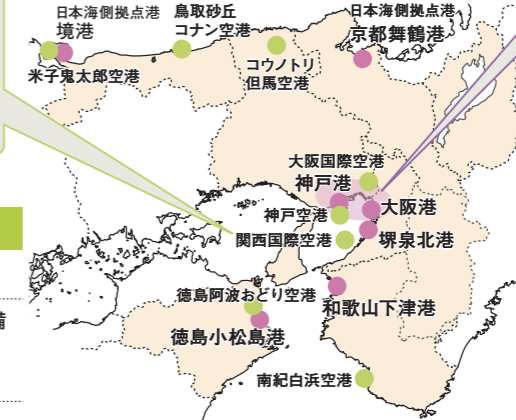
*中小ベンチャー企業: 資本金3億円以下または従業員数300人以下の企業

◆高度な産業インフラ

産業活動を支える空港、港湾、鉄道等の産業インフラ面でも、国内有数の基盤が整備されています。

関西国際空港 国際線ネットワーク

- 航空会社数 72社
- 就航国 (地域) 24か国・地域
- 就航都市数 92都市
- 就航便数 週1,553便



関西国際空港の強み!

4000m 級複数滑走路+完全 24時間運用

空港内に「医薬品専用共同定温庫」を整備
空港内の移動時も定温を保てる
「保冷ドリー」を導入

国際線 LCC 就航便数
462便 / 週、21社、29都市

国際コンテナ戦略港湾 阪神港 (大阪港・神戸港)

- 外貿定期コンテナ航路: 週150.3便
- 中国・韓国等近海: 週141便
- 北米: 週6便 欧州: 週1便
- オセアニア等: 週2.3便

「国際コンテナ戦略港湾」産業の国際競争力の強化のため、港湾の機能強化を目指し、国は平成22年8月に「阪神港」と「京浜港」を「国際コンテナ戦略港湾」に選定した。

日本海側拠点港 ●外貿定期コンテナ航路
境港 韓国 (釜山): 週4便
韓国 (釜山等)・中国 (青島等): 週1便

日本海側拠点港 ●外貿定期コンテナ航路
京都舞鶴港 韓国 (釜山): 週3便

堺泉北港 ●外貿定期コンテナ航路
東南アジア (タイ): 週1便
中国 (青島): 週1便

和歌山下津港 ●外貿定期コンテナ航路
韓国 (釜山): 週3便

徳島小松島港 ●外貿定期コンテナ航路
韓国 (釜山): 週2便

資料: 国土交通省HP、各港湾HP

注: 関西国際空港の国際線ネットワークは、関西エアポート2019年国際線冬期スケジュール・ピーク時のもの
資料: 関西エアポート (株) 作成資料

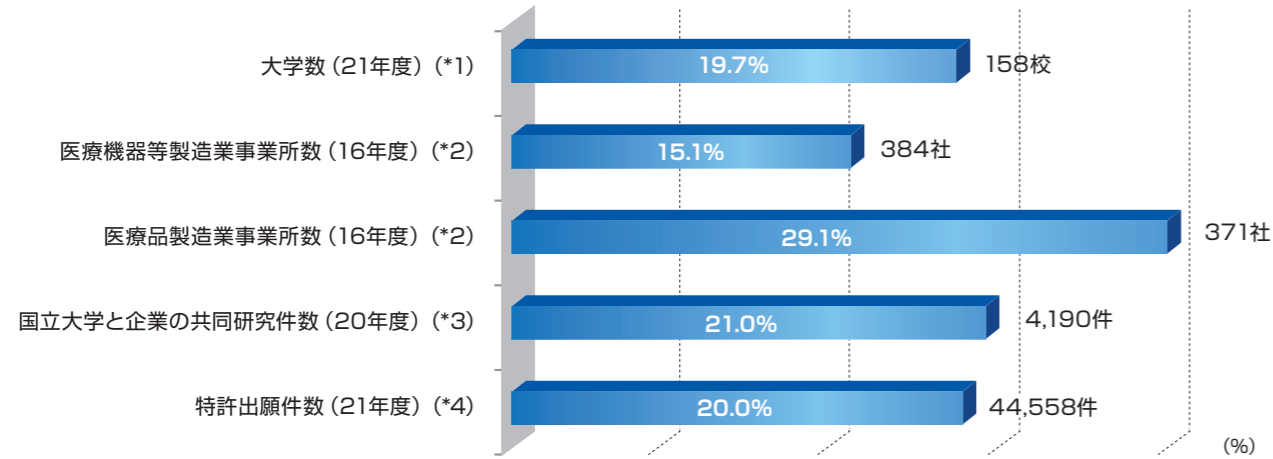
◆バイオ関連インキュベーション施設

施設名	所在地	施設部屋数	運営主体	連絡先
長浜バイオインキュベーションセンター	滋賀県長浜市	研究室 17室	一般社団法人バイオビジネス創出研究会	TEL:0749-65-8808 E-Mail:info@biobiz.jp
京都府けいはんなベンチャーセンター	京都府相楽郡精華町	オフィス・実験ラボ 31室	株式会社けいはんな	TEL:0774-95-5117 E-Mail:labo@ml.keihanna-plaza.co.jp
彩都バイオインキュベーション施設	大阪府茨木市	ウェットラボ 62室 動物舎	バイオ・サイト・キャピタル株式会社	TEL:072-640-1060 E-Mail:support@bs-capital.co.jp
尼崎リサーチ・インキュベーションセンター	兵庫県尼崎市	ラボ (49室) オフィス (22室) スモールオフィス (40室)	株式会社エーリック	TEL:06-6415-2500 E-Mail:info@eric-ama.co.jp
わかやまビジネススクエア	和歌山県和歌山市	オフィス 25室 会議室 1室	和歌山県	TEL:073-441-2760 E-Mail:e0610001@pref.wakayama.lg.jp
とっとりバイオフロンティア	鳥取県米子市	オープンラボ 1室 居室 4室 実験室 4室 動物飼育室 4室	鳥取県 (指定管理者:公益財団法人鳥取県産業振興機構)	TEL:0859-37-5131 E-Mail:tbtf@toriton.or.jp
とっとり創薬実証センター	鳥取県米子市	オープンラボ1室、居室9室、 実験室5室、商談室1室	国立大学法人鳥取大学	TEL:0859-38-6219
徳島大学 藤井節郎記念医科学センター	徳島県徳島市	オープンラボ2室 共通機器室8室 ラボサポート6室 セミナー室2室 会議室1室	国立大学法人徳島大学	TEL:088-633-9420 E-Mail:m.iwata@tokushima-u.ac.jp
クリエイション・コア京都御車	京都府京都市	実験研究開発室21室 オフィス研究開発室15室	独立行政法人中小企業基盤整備機構	TEL:075-253-5242 E-Mail:cckm-info@smrj.go.jp
大阪公立大学インキュベータ	大阪府大阪市	個室タイプ12室 共同研究室2室 会議室1室 談話コーナー	公立大学法人大阪	TEL:06-6605-3468 E-Mail:gr-knky-sangaku@omu.ac.jp
さかい新事業創造センター (S-Cube)	大阪府堺市	マルチラボ (オフィス付) 4室 R&Dラボ 8室 オフィス 47室 創業準備デスク 8ブース	株式会社さかい新事業創造センター	TEL:072-240-3775 E-Mail:info@s-cube.biz
神戸バイオメディカル創造センター	兵庫県神戸市	ラボ (ウェット仕様) 17室 細胞培養センター等 7室	神戸都市振興サービス株式会社	TEL:078-306-2540 E-Mail:info@kups.jp

世界有数の知的資源

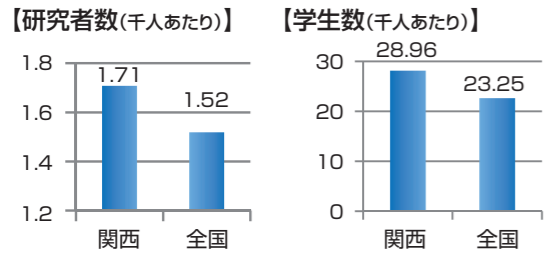
ライフサイエンス、素材、エレクトロニクス、環境・エネルギーなど多様な分野で世界トップレベルの研究が進められており、ノーベル賞等を受賞した研究者の存在とともに、大学間、産学間の連携も活発で、イノベーションを創出しやすい環境を有しています。

◆知的資源等の集積(国内シェア)



資料: (*1)文部科学省「令和3年度学校基本調査」、(*2)(*3)総務省「平成28年経済センサス活動調査」、(*4)文部科学省「令和2年度大学等における産学連携等実施状況について」、(*5)特許庁「特許行政年次報告書2022年版」

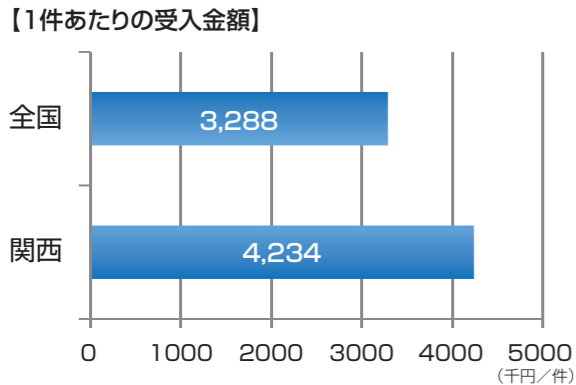
◆人口あたりの研究者・学生数



資料: 文部科学省「令和3年度学校基本調査」
総務省「人口推計」(令和3年10月1日現在)

◆産学共同研究金額

全国の産学共同研究の約4分の1(金額ベース)が関西で実施され、1件あたりの受入金額も全国平均より大きい。



資料: 文部科学省「令和2年度大学等における産学連携等実施状況について」(国立大学における共同研究実績)

関西から多くのノーベル賞受賞者を輩出(日本人受賞者29人中16人)

○物理学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
中村 修二	2014年	徳島大学工学部卒、徳島大学博士課程(工学) 世界に先駆けて実用に供するレベルの高輝度青色発光ダイオードや青色半導体レーザーの製造方法を発明・開発
赤崎 勇	2014年	京都大学理学部卒 高輝度で省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオードの発明

○化学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
田中 耕一	2002年	島津製作所(京都府)のシニアフェロー 生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
下村 脩	2008年	京都府福知山市出身 緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見と生命科学への貢献
吉野 彰	2019年	京都大学工学部卒、大阪大学大学院工学研究科博士課程(工学) リチウムイオン電池の開発

○生理学・医学賞

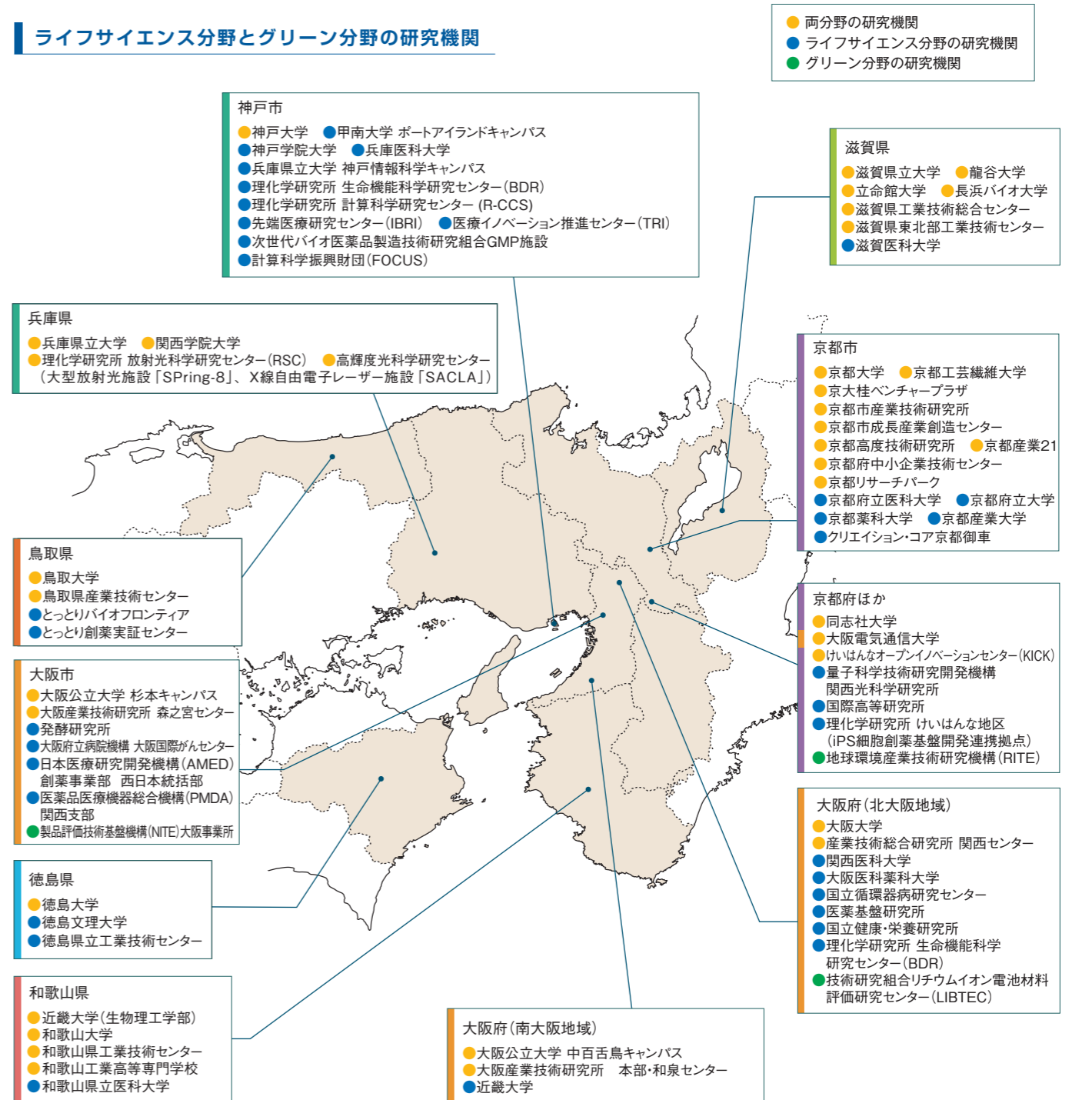
名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
山中 伸弥	2012年	神戸大学医学部卒、大阪市立大学大学院博士課程、京都大学再生医科学研究所 様々な細胞に成長できる能力を持つiPS細胞の作製
本庶 佑	2018年	京都大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科生理系博士課程 免疫抑制分子であるPD-1分子を同定し、がん治療の応用に成功

◆国内有数のライフサイエンス・グリーン分野の研究機関集積

ライフサイエンス分野では、iPS細胞の研究など世界レベルのライフサイエンスの研究成果を活かし、健康から創薬・治験、再生医療に至る取組が進められ、こうした分野を支える、大学を中心とする研究機関や、関連技術を持つ中堅・中小企業が集積しています。

グリーン分野は今後の成長産業と期待されており、トップランナー企業から新規参入を検討する企業も多く立地しています。こうした企業を支える、基礎から応用部分まで共同開発を含め官民連携に適した研究機関が整っています。

ライフサイエンス分野とグリーン分野の研究機関



関西が取り組む特区の概要

◇世界屈指の科学技術基盤・先端的研究施設

京都大学iPS細胞研究所(CiRA) 京都大学iPS細胞研究財団(CiRA_F) (京都府京都市)	世界初のiPS細胞に特化した先駆的な研究機関で、iPS細胞を用いた再生医療や難病の治療薬開発、疾患メカニズムの解明を目指した研究に取り組んでいます。細胞の製造やストック・品質評価などの機能を分離する形で、2019年に別法人である「京都大学iPS細胞研究財団」を設立。2020年4月から活動しています。
理化学研究所 バイオリソース研究センター(BRC) iPS細胞創薬基盤開発連携拠点 (京都府精華町)	疾患特異的iPS細胞の利活用の促進、大学や製薬会社等における創薬研究開発のためのリソースや技術支援を提供する基盤として貢献することを目的としています。今後、京都府や京都大学iPS細胞研究所との連携により、我が国における創薬・病態研究を強力に支援することを目指して、研究開発を進めています。
理化学研究所 生命機能科学研究センター(BDR) (兵庫県神戸市・大阪府吹田市 他)	個体の発生・誕生から死までのライフサイクルを、分子・細胞・臓器の階層をまたいだ動的なシステムとして理解し、発生・成熟・老化現象の解明及び、その応用に基づく再生医療や診断技術の開発、健康寿命の延伸に貢献します。
理化学研究所 計算科学研究センター(R-CCS) スーパーコンピュータ「富岳」 (兵庫県神戸市)	スーパーコンピュータ「富岳」は2020年6月から2年間、世界スパコンランキング主要4部門で第1位を獲得し、2021年3月に広く共用を開始しました。「富岳」は電力性能、計算性能、使い勝手の良さ、画期的な成果創出、ビッグデータやAI(人工知能)の加速機能の総合力が世界トップレベルで、2020年代に、複雑化する社会的課題の解決やサイエンスの探求を通じて日本の成長に貢献し、世界を先導する成果を生み出すスーパーコンピュータです。
理化学研究所 放射光科学研究センター(RSC) 大型放射光施設「SPring-8」 (兵庫県佐用町)	世界最高性能の放射光を生み出すことができる世界屈指の大型放射光施設。ナノテクノロジー、バイオテクノロジーや産業利用まで幅広い研究が行われており、国内外の産学官の研究者等に開かれた共同利用施設として国家的プロジェクトをはじめ、多くの新技術・新製品開発に貢献しています。
理化学研究所 放射光科学研究センター(RSC) X線自由電子レーザー施設「SACLA」 (兵庫県佐用町)	X線領域の波長を持ったレーザー「X線自由電子レーザー(XFEL: X-ray Free Electron Laser)」は、高輝度放射光の優れた特長を兼ね備えた夢の光。タンパク質の構造解析による難病治療や、革新的な材料開発への貢献が期待されています。



京都大学iPS細胞研究所(CiRA)・iPS細胞研究財団(CiRA_F)



理化学研究所 計算科学研究センター(R-CCS)



理化学研究所 生命機能科学研究センター(BDR)



SPring-8, SACLA

◇関西イノベーション国際戦略総合特区の概要

関西が取り組む政策課題

国際競争力向上のための “イノベーションプラットフォーム”の構築

(実用化・市場づくりを目指したイノベーションを次々と創出する仕組み)

- 企業や地域単独では解決できない課題に府県を越えオール関西で取り組む
- 域内資源を有機的に結びつけるとともに、資源の集中的投入を実現
- 内外に開かれたネットワークにより、知恵と資源を呼び込む

申請6自治体(京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)、経済団体、大学・研究機関等が一丸となって取り組む

関西イノベーション国際戦略総合特区の9地区

一体的に関西イノベーションプラットフォームを形成

課題解決に向けた関西での取組

- 1 研究、開発から実用化へのさらなるスピードアップと性能評価等による国際競争力の強化
- 2 多様な産業・技術の最適組み合わせによる国際競争力の強化
- 3 イノベーションを下支えする基盤の強化

重点的に取り組む6つのターゲットでイノベーションを創出

～未来社会の市場を見据え、強みを有するターゲットに当面資源を集中～

①医薬品 ②医療機器 ③先端医療技術(再生医療等)
④先制医療 ⑤バッテリー ⑥スマートコミュニティ

▶▶▶ 内外の生活革新をもたらすことを期待!

数値目標(ライフ分野)

- 特区支援制度活用による医薬品・医療機器関連設備投資額【平成23～令和8年度の累積619億円】
- 特区参画の製薬企業の研究開発費【8,776億円(平成29年度)→1兆135億円(令和8年度)】
- 特区支援制度活用による医薬品・医療機器の業事申請数【平成23～令和8年度の累積63件】
- 関西の医薬品・医療機器の生産額【1.42兆円(平成26年)→1.81兆円(令和8年)】

関西のポテンシャルをフル活用

世界トップクラスのリーディング企業が集積
世界屈指の大学・研究機関、科学技術基盤の集積

◇関西圏国家戦略特区の概要

平成26年5月に、京都府、大阪府及び兵庫県の全域が関西圏国家戦略特別区域に指定されました。関西圏では、医療、都市再生・まちづくりなどの分野において国際競争力を強化するとともに、国際的な経済拠点の形成を図っていきます。

- 目標 健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成を通じ、再生医療を始めとする先端的な医薬品・医療機器等の研究開発・事業化を推進するとともに、チャレンジングな人材の集まるビジネス環境を整えた国際都市を形成する。
- 主な認定事業(令和4年10月末時点)

医療分野の取組

国家戦略特別区域陽電子放射断層撮影装置使用柔軟化事業

可搬型のPET(陽電子断層撮影)装置の開発を促進するため、京都大学医学部附属病院が同院(京都市左京区)のMRI(磁気共鳴断層撮影)装置使用室において、放射性物質であるPET薬剤が投与された患者に対して可搬型PET装置を用いた撮影を行うことを可能とする。

特区医療機器薬事戦略相談の実施

大阪大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院が、革新的医療機器の開発について、特区医療機器薬事戦略相談を活用して、治験期間を短縮し、開発から市販・承認までのプロセスを迅速化することにより、日本発の革新的医療機器の開発を促進し、医療イノベーションを強力に推進する。

革新的な医薬品の開発迅速化

大阪大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院が、革新的な医薬品の開発について、有望な創薬シーズを治験に円滑に橋渡しし、開発から承認・市販までのプロセスを迅速化することにより、日本発の革新的な医薬品の開発を促進し、医療イノベーションを強力に推進する。

国家戦略特別区域高度医療提供事業(病床規制に係る医療法の特例)

1. 地方独立行政法人神戸市民病院機構が、世界初のiPS細胞を用いた臨床研究である網膜再生治療をはじめ、最先端の医療技術の実用化促進等を図るため、「神戸アイセンター」内に眼科病院(新規病床30床)を開設する。
2. 一般社団法人中之島アイセンター推進協議会が、世界初のiPS細胞由来角膜上皮細胞及び内皮細胞移植など、最先端の医療技術にかかる臨床研究、外来、手術、リハビリ等の治療を一貫して提供するため、「未来医療国際拠点(大阪市北区)」内に眼科診療所(新規病床19床)を開設する。

課税の特例措置活用事業

1. 株式会社メガカリオンが、ヒトiPS細胞から、高品質な血小板を計画的に大量生産する技術の研究開発を行う。
2. 大研医器株式会社が、超小型・高性能・低コストマイクロポンプを活用したディスプレイ型医療機器の開発を行う。
3. 住友ファーマ株式会社が、他家由来iPS細胞を用いた再生医療製品の事業化を目的とした生産施設の構築を行う。
4. 株式会社ゾーンデザインが、核酸医薬原薬の大量製造を可能とする新しい製造技術の研究開発を行う。

7

8

関西の成長産業(ライフ・グリーン)クラスター

ライフサイエンス分野

- 医薬品・医療機器 ● 再生医療等 ● 治験・臨床研究 ● 医療・介護ロボット
- 医療情報システム ● 医療施設・整備 ● 健康関連 等

グリーン分野

- 環境配慮型自動車関連 ● 蓄電池関連 ● スマートコミュニティ
- 水素関連 ● 省エネ機器 ● 環境関連 ● 太陽光・風力 等

6 神戸医療産業都市 <https://www.fbri-kobe.org/kbic/>

神戸医療産業都市は、阪神・淡路大震災によって大きな被害を受けた神戸経済を立て直し、市民の命を守り、そして国際社会に貢献することを目指すプロジェクトとしてスタートしました。1998年にプロジェクトを開始してから20年以上がたち、380近い企業や先端医療の研究機関、高度専門医療機関等が集積。雇用者数は12,400名、神戸市内の経済効果・税収効果はそれぞれ1,562億円、69億円を計上する(2020年度)、国内最大級のバイオメディカルクラスターに成長しています。



「関西イノベーション国際戦略総合特区」や「国家戦略特区」の指定を受け、「医薬品」、「医療機器」、「再生医療」、「ヘルスケア」を重点分野に、世界を変える革新的な医療技術の開発が進められています。世界初のiPS細胞を用いた臨床研究の進展、2021年11月に世界のスーパーコンピュータ性能ランキングの5部門で世界1位を獲得したスーパーコンピュータ「富岳」、国産初の手術支援ロボット「hinotori™」による遠隔手術の実証実験など、神戸医療産業都市を取り巻く環境や構成要素も大きく変化しています。2020年には、内閣府の認定も受け、「神戸未来医療構想」の取組が始まりました。神戸医療産業都市において医療機器開発のエコシステムを形成するため、産学官連携による実証拠点の整備を進めるとともに、未来医療技術を活用した医療機器の研究開発や医工連携人材の育成を行うことにより、医療産業の更なる発展と若者の地域就業・定着を推進することで、地方創成を実現していきます。

7 播磨科学公園都市

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kc03/harima.html>

播磨科学公園都市では、21世紀の科学技術の発展を支える学術研究機関とナノテク分野をはじめとする「ものづくり産業」が集積しており、特に、大型放射光施設Spring-8やSACLA、ニュースバル等を活用し、基礎・基盤研究から産業応用まで、諸外国に先駆けて革新的な成果を創出することが期待されています。



8 和歌山県特産農産物を活用した健康産業イノベーション推進地域

<http://www.yarukiouendan.jp/research/tikiinnovation/index.html>

和歌山県では、県産業技術基本計画に基づく食品産業活性化対策として、特産果実類の保健機能成分の解明とエビデンスの蓄積、新たな加工技術による食品の高付加価値化を進めています。当地域におけるイノベーション戦略は、この取組を県の地域農産物・加工副産物の高付加価値化から基盤産業の改革、健康産業の創出へと発展させます。同時に、食・運動・健康に関わる人材育成プログラムの開発と健康マネジメントシステムを構築し、県民の健康意識の向上と保健機能食品の適切な活用を図り、県民の健康力を向上させ、健康長寿社会の創出を目指します(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム事業(平成24年度~平成28年度)等で実施)。



9 産学官連携によるとっとり発バイオイノベーションの主な取組

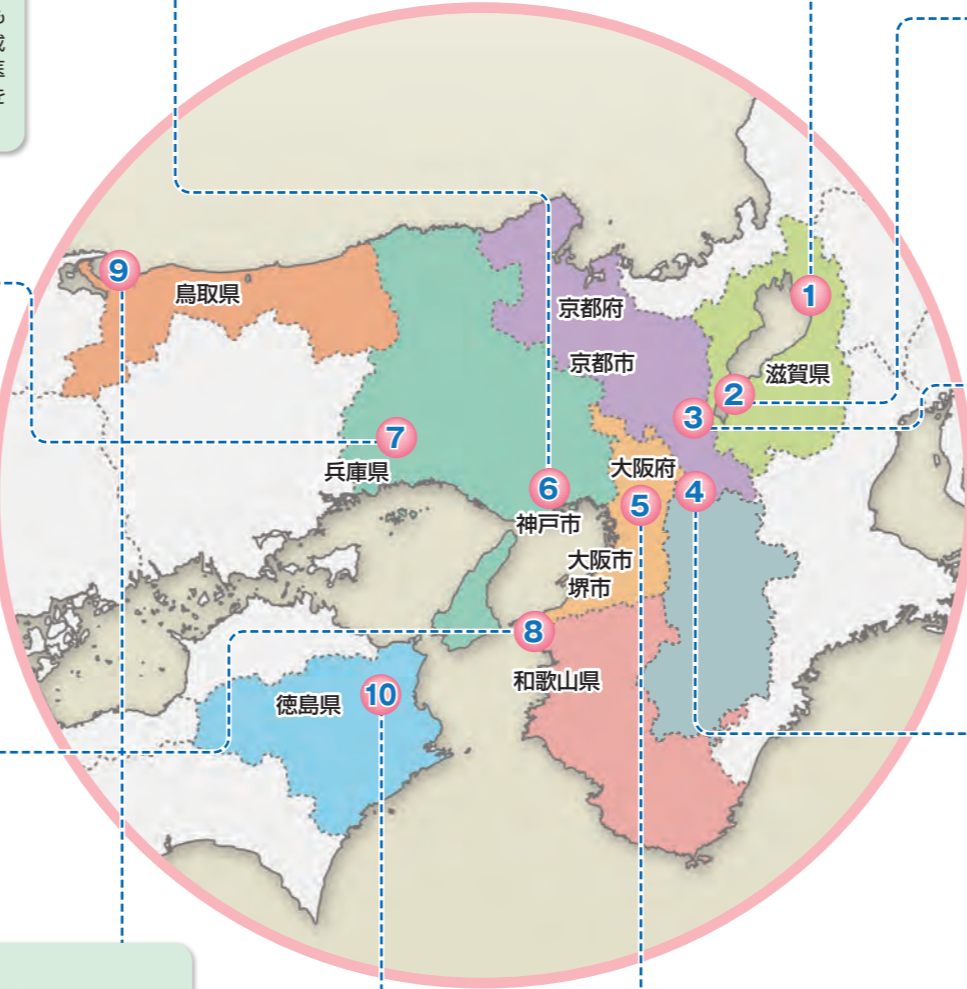
<http://www.bio-frontier.jp/>

鳥取大学米子キャンパス内に設立された産学官連携拠点「とっとりバイオフロントティア」(H23.4月)では、鳥取大学が有する染色体工学技術を活用し、バイオ技術実用化へ向けた研究開発等に取り組んでいます。更に鳥取大学「とっとり創薬実証センター」が開設(H30.4月)し、創薬実用化のフェーズへと進みます。鳥取県では産学官連携によるとっとり発バイオイノベーションの創出を加速化させ、医療及び医薬品等の開発を通して国民の健康増進と地域活性化に貢献しながらバイオ産業の集積を推進し、地域産業の貢献を目指していきます。



10 産学官連携による「糖尿病克服」の取組

徳島県では、臨床科間の相互連携と、臨床部門及び研究部門の密接な連携という独自の研究開発体制を有する徳島大学医学部を中心とし、糖尿病の発症段階から治療段階までの横断的な研究開発を行うとともに、新たに重症化抑制に取り組み、画期的な糖尿病治療関連技術や、医療機器、創薬、健康食品等の社会実装及び糖尿病疾患管理モデルの構築等、「糖尿病研究開発クラスター」の形成によるイノベーション創出を目指します。



1 長浜バイオクラスター <http://www.biobiz.jp/n-cluster/>

長浜バイオクラスターでは、地域経済の活性化を目標に、長浜サイエンスパーク内の大学や企業が有する技術シーズの活用を図りつつ、地元企業と連携しながら、新たな事業創出に向けた取組を行っています。「長浜アグリバイオプロジェクト」「長浜バイオビジネス創出プロジェクト」「長浜地場産業活性化プロジェクト」など、地域農林水産資源とバイオテクノロジーを活かした農水商工連携による地域活性化戦略を推進しています。



2 しがオープンイノベーションフォーラム

<https://www.shigaplaza.or.jp/openinobe/>

ものづくり企業のほか、農業や情報通信業など様々な技術シーズを有する企業、さらには県外企業や大手企業を取り込んだ「出会いの場」を形成し、企業間マッチングを推進する機会の提供やコーディネーターによる伴走支援を通じて、オープンイノベーションを加速することで、新事業創出による県内中小企業の競争力強化に向けて取り組んでいます。フォーラムで実施するワークショップの1つである「しが医療機器ビジネス研究会」では、大学、病院などと連携して、セミナーや展示会、病院見学等のイベントを開催し、医療分野で新技術・新製品の開発を目指す企業を支援しています。



3 京都の産学公連携によるライフサイエンス分野の取組

<http://www.astem.or.jp/lifeinov/>

京都のライフサイエンス分野の先進性・優位性を活かし次世代を担う新たな産業形成の促進を図るため、産学公連携のもとにライフサイエンス関連産業の発展に資する取組を行っています。「次世代医療分野」、「健康・福祉・介護分野」、「地場資源活性化分野」の3つの分野を中心に、研究開発の推進、技術者育成、立地支援等により、次世代を担う新たな産業形成を推進しています。



4 関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)

<https://www.kri.or.jp/>

関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)は、京都、大阪、奈良の3府県にまたがる京阪奈の緑豊かな丘陵において、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき、建設・整備を進めているサイエンスシティです。東の「つくば研究学園都市」とともに国家的プロジェクトに位置づけられ、総面積は約15,000ha、その中に12の文化学術研究地区を分散配置。現在、150を超える研究施設、大学施設、文化施設などが立地し、情報通信、環境・エネルギー、バイオサイエンス等の分野で成果を挙げています。主な中長期プロジェクトとしては、関西イノベーション国際戦略総合特区事業があり、グリーンイノベーション、ライフイノベーション分野で積極的な取組を進めています。



5 大阪のバイオ・ヘッドクォーター体制によるイノベーション創出の主な取組

<https://osaka-bio.jp/>

大阪大学をはじめとする世界トップレベルの優れた大学・研究機関等や多数のライフサイエンス関連企業が集積する大阪では、産学官連携のもとライフサイエンス産業のさらなる発展をめざして取組を進めています。こうした取組のひとつとして、大阪駅周辺の「うめきた」に、オールジャパンでの医療分野の研究開発推進の中心を担う日本医療研究開発機構(AMED)や、医薬品等の承認審査等を行う医薬品医療機器総合機構(PMDA)といった国の創薬等の支援機関を集約するなど、ライフサイエンス分野の集積の強みを十分活かせるよう環境整備を進めてきました。また、医薬基盤研究所を核に創薬ベンチャー等が集積する「彩都」、国立循環器病研究センターや国立健康・栄養研究所を核とした健康・医療の拠点形成が進む「健都」、さらには再生医療をはじめとする未来医療の実用化・産業化を進める世界に開かれた国際拠点をめざす「中之島」など、特色ある拠点形成の実現に向けて取り組んでいます。



ライフイノベーション

◇医薬品関連産業・医療機器産業の集積

関西には、「くすり」の町として有名な大阪・道修町を中心に大手製薬企業をはじめとする医薬品関連産業、医療機器産業が集積しています。国内製薬会社売上高ランキングでは武田薬品工業をはじめ関西の企業が、上位10社のうち4社を占めており、医薬品生産高は全国トップを誇っています。

◇リーディングカンパニーの集積

●国内製薬会社売上高（2021年度）

順位	企業名	売上高 (億円)
1	武田薬品工業(株)	35,690
2	大塚ホールディングス(株)	14,983
3	アステラス製薬(株)	12,962
4	第一三共(株)	10,449
5	中外製薬(株)	9,998
6	エーザイ(株)	7,562
7	住友ファーマ(株)	5,600
8	田辺三菱製薬(株)	3,859
9	小野薬品工業(株)	3,614
10	協和キリン(株)	3,522

※ は関西に本社を置く企業 資料：AnswersNews

●関西に本社を置く医療機器メーカー

- ニプロ(株)【5】
- (株)カネカ【17】
- シスメックス(株)【6】
- タカラバイオ(株)【19】
- オムロン(株)【9】
- (株)松風【23】
- (株)島津製作所【12】
- 大研医器(株)【30】

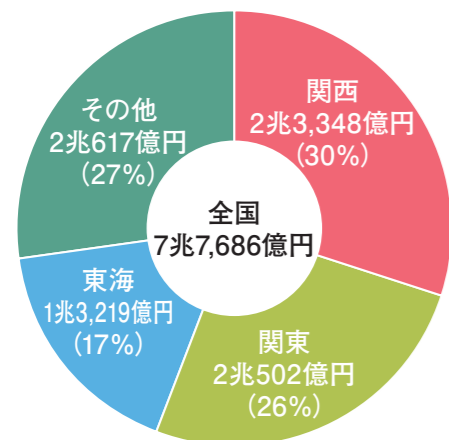
※【 】内は国内売上順位 資料：業界動向サーチ

●関西に本社を置く主な電機、エレクトロニクス関連企業

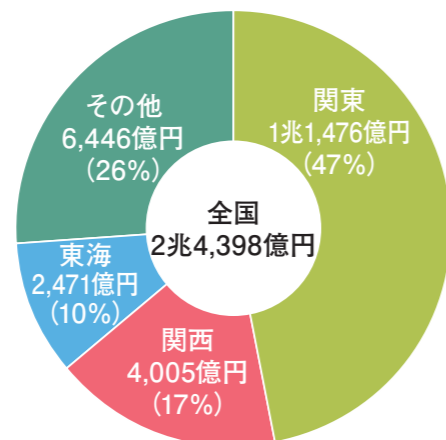
- シャープ(株)
- 京セラ(株)
- オムロン(株)
- (株)村田製作所
- ローム(株)
- 日本電産(株)
- (株)キーエンス
- 住友電気工業(株)
- (株)ジーエス・ユアサコーポレーション
- 日新電機(株)

◇医薬品・医療機器関連製造品出荷額等の国内シェア

●医薬品関連



●医療機器関連



資料：経済産業省「令和元年工業統計調査」



◇世界最高レベルの研究機関・成果

関西には、ライフサイエンス分野において、イノベーションを創出する世界屈指の科学技術基盤・先端的研究施設が揃っています。放射光施設とスーパーコンピュータをネットワークすることで、膨大なデータのシミュレーション検証、再現も可能となり、革新的な創薬の研究開発も実施できます。また、京都大学iPS細胞研究所、理化学研究所、大阪大学などiPS細胞に関する研究で世界を先導しています。

◇世界を先導するiPS細胞研究

① 再生医療用iPS細胞ストック【京都大学iPS細胞研究財団(CiRA_F)】

健康なボランティアの方に細胞を提供していただき、再生医療用のiPS細胞を製造・ストックしています。患者自身の細胞を使う「自家移植」と比べると時間も費用も抑えられます。細胞の製造を自動化することで「自家移植」にかかる時間と費用を抑えるプロジェクト「my iPS(マイiPS)」への取組も進めており、2025年提供開始を目標にしています。

iPS細胞の可能性

健康なボランティアの方から細胞を提供していただき、再生医療用のiPS細胞を製造・ストックしています。患者自身の細胞を使う「自家移植」と比べると時間も費用も抑えられます。細胞の製造を自動化することで「自家移植」にかかる時間と費用を抑えるプロジェクト「my iPS(マイiPS)」への取組も進めており、2025年提供開始を目標にしています。

京都大学 iPS細胞研究財団 理事長 山中 伸弥

2012年 ノーベル生理学・医学賞受賞

※写真は京都大学iPS細胞研究所提供

② iPS細胞由来の心筋シートを用いた心筋再生医療【大阪大学等】

大阪大学心臓血管外科では、京都大学CiRA(現・CiRA_F)で樹立されたiPS細胞を用いた新規重症心不全治療法の開発に取り組んでいます。iPS細胞から分化誘導した心筋細胞で作製した心筋シートは、損傷を受けた心臓表面に移植されると生理活性物質を産生・遊離し、血管新生・組織修復を促すとともに、心臓の拍動を助けることで、心機能の改善が期待されます。本治療法は、2018年に臨床への応用が承認され、2020年1月に重症心筋症の患者さんへの世界初の移植が実施され、2021年12月現在までに3名への移植が完了しています。さらに産業化をめざした開発が進められています。

iPS細胞由来の心筋シートを用いた心筋再生医療

大阪大学心臓血管外科では、京都大学CiRA(現・CiRA_F)で樹立されたiPS細胞を用いた新規重症心不全治療法の開発に取り組んでいます。iPS細胞から分化誘導した心筋細胞で作製した心筋シートは、損傷を受けた心臓表面に移植されると生理活性物質を産生・遊離し、血管新生・組織修復を促すとともに、心臓の拍動を助けることで、心機能の改善が期待されます。本治療法は、2018年に臨床への応用が承認され、2020年1月に重症心筋症の患者さんへの世界初の移植が実施され、2021年12月現在までに3名への移植が完了しています。さらに産業化をめざした開発が進められています。

大阪大学大学院 医学系研究科 名誉教授 澤 芳樹

2020年1月、重症心筋症患者に対して、iPS細胞由来心筋細胞シートの移植が世界で初めて実施された。

③ ヒトiPS細胞を用いた角膜上皮再生治療法の開発(他家移植)【大阪大学等】

大阪大学眼科ではiPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発に取り組んでいます。京都大学CiRA(現・CiRA_F)が供給している「他家HLAホモiPS細胞」を用いて、角膜上皮前駆細胞ストックを作製します。この角膜上皮前駆細胞ストックを用いることで、短期間で角膜上皮細胞シートを製造可能となり、多くの患者に対して免疫拒絶の少ない移植を行うことが可能となります。

他家移植

大阪大学眼科ではiPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発に取り組んでいます。京都大学CiRA(現・CiRA_F)が供給している「他家HLAホモiPS細胞」を用いて、角膜上皮前駆細胞ストックを作製します。この角膜上皮前駆細胞ストックを用いることで、短期間で角膜上皮細胞シートを製造可能となり、多くの患者に対して免疫拒絶の少ない移植を行うことが可能となります。

大阪大学 眼科学教室 教授 西田 幸二

2019年7月 世界初の移植を実施

④ iPS細胞を用いた網膜再生医療【理化学研究所、神戸市立神戸アイセンター病院等】

理化学研究所は、「滲出型加齢黄斑変性」を対象とした臨床研究として、患者由来のiPS細胞から作製した網膜色素上皮(RPE)細胞を移植する世界初の手術を先端医療センター(当時)などと共同で行い(2014年)、続いて、健康者由来iPS細胞を用いる「他家移植」を神戸市立医療センター中央市民病院などと実施しました(2017年)。現在は神戸市立神戸アイセンター病院を中心機関として、「網膜色素変性」に対する他家iPS細胞由来網膜シート移植(2020年)や、「網膜色素上皮不全症」(萎縮型加齢黄斑変性や網膜色素変性等も含めたより広い網膜変性疾患群)に対する他家iPS細胞由来RPE細胞移植が進められています(2021年)。

iPS細胞を用いた網膜再生医療

理化学研究所は、「滲出型加齢黄斑変性」を対象とした臨床研究として、患者由来のiPS細胞から作製した網膜色素上皮(RPE)細胞を移植する世界初の手術を先端医療センター(当時)などと共同で行い(2014年)、続いて、健康者由来iPS細胞を用いる「他家移植」を神戸市立医療センター中央市民病院などと実施しました(2017年)。現在は神戸市立神戸アイセンター病院を中心機関として、「網膜色素変性」に対する他家iPS細胞由来網膜シート移植(2020年)や、「網膜色素上皮不全症」(萎縮型加齢黄斑変性や網膜色素変性等も含めたより広い網膜変性疾患群)に対する他家iPS細胞由来RPE細胞移植が進められています(2021年)。

株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 (理化学研究所 科技ハブ産連本部 パンソニオン研究推進プログラム 眼科領域遺伝子細胞治療研究チーム 客員研究員) 高橋 政代

2014年9月 iPS細胞を用いた世界初の移植手術を実施

※写真は理化学研究所提供

グリーンイノベーション

◇成長が期待されるグリーン分野

関西には、今後の成長が期待されるグリーン分野において、オンリーワン、トップシェア企業を含む競争力のある電池関連メーカーが集積しており、さらに2016年には世界最大級の大型蓄電池システム試験評価施設(NLAB)が立地するなど、新たなビジネス・イノベーション創出に向けた環境が整っています。また、水素社会の実現に向けて、初期段階の水素需要・応用範囲の拡大と、水素の社会受容性の向上に資する取組が活発に行われ、水素関連産業の中心地となりつつあります。

◇リチウムイオン電池関連企業の集積

●オンリーワン、トップシェア企業が集積!



資料: 近畿経済産業局「2021 INVEST JAPAN, INVEST KANSAI」

◇主な関西の燃料電池関連企業

●燃料電池メーカー

- パナソニック ● 京セラ ● 日立造船

●燃料電池関連装置・部品メーカー

- フジキン ● サムテック ● NISSHAエフアイエス ● 高石工業 ● テクノ高槻
- ヤマト・H2Energy Japan ● 加地テック ● 東洋紡 ● 日本触媒

●水素製造、貯蔵等メーカー

- 岩谷産業 ● 川崎重工業 ● エア・ウォーター ● 神鋼環境ソリューション

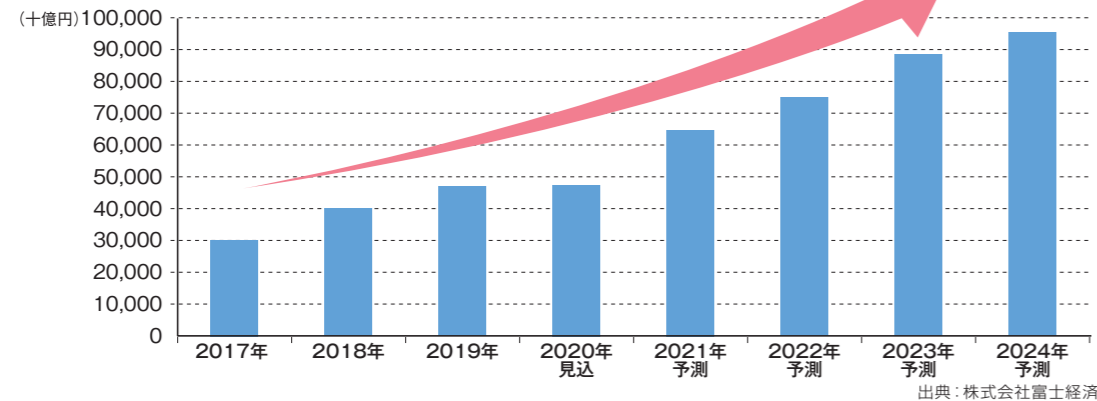
●検査・評価関係

- 島津製作所 ● 堀場製作所 ● 神戸工業試験場

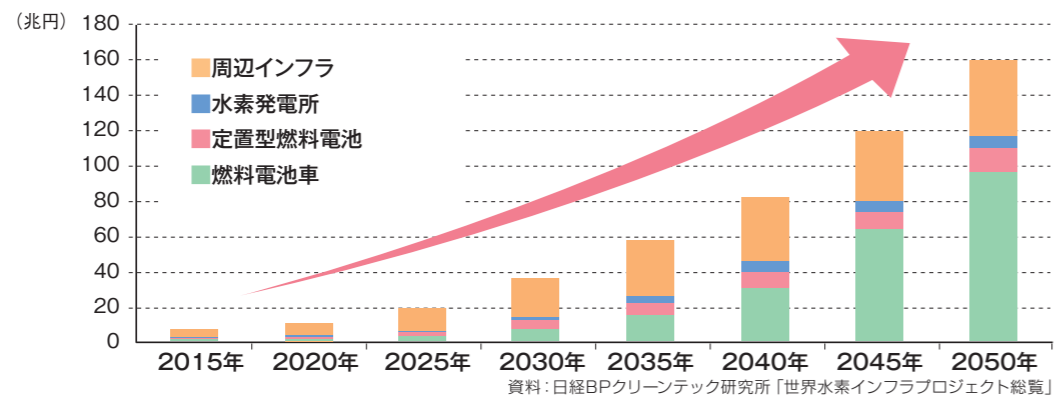
資料: 近畿経済産業局「2021 INVEST JAPAN, INVEST KANSAI」

◇グリーン分野の市場予測

●リチウムイオン電池の世界市場予測



●水素関連の世界市場予測



◇関西の代表的な研究機関等

製品評価技術基盤機構(NITE)大阪事業所(大阪府大阪市)

NITEは、南港咲洲コスモスクエア地区において、世界最大級の耐火、耐爆性能を備えた恒温型チャンバーを有する試験評価施設(NLAB)を運営しています。NLABでは、大型蓄電池等を対象とした安全性、性能などの評価試験を企業等と共同して実施しています。試験の結果は製品開発や安全基準の作成に活用され、我が国の産業発展に貢献しています。



提供: 製品評価技術基盤機構(NITE)

産業技術総合研究所関西センター(大阪府池田市)

関西地域に高い産業集積がある「電池」、「バイオ医療」、「生活素材」の各分野を重点とした研究開発を進め、その成果を核とした技術の橋渡しと社会課題解決への貢献を目指しています。技術開発に加え、人材育成や産学官連携、異業種・異分野連携、地域連携、国際連携にも積極的に取り組んでいます。



技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター(LIBTEC)(大阪府池田市)

電池メーカーと同様の電池試作設備と評価設備を有し、組合員の材料メーカー単独では難しい実用サイズ電池での試作評価や安全性評価を高い信頼性で行うことができます。国内の電池材料メーカーによる新材料の開発促進を後押しします。また、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託を受け、産官学連携して全固体蓄電池の評価技術を開発しています。



◇関西の代表的な水素分野の取組

1 関西国際空港水素グリッドプロジェクト

- アジアの空港で初の燃料電池フォークリフト・水素供給インフラの実証運用を展開中です。
- 2017年、国際貨物地区に国内空港初となる大規模産業車両用水素インフラを整備し、燃料電池フォークリフトによるCO₂排出量の削減や作業環境の大幅な改善を実現しています。
- 2016年に整備された水素ステーションは、燃料電池自動車への水素供給を行っています。



燃料電池フォークリフトと大規模産業車両用水素インフラ



燃料電池自動車と水素ステーション
提供: 関西エアポート(株)

2 水素スマートシティ神戸構想

- 世界に先駆けた、大規模な水素エネルギーサプライチェーン構築を目指すための技術実証プロジェクトを推進しています。(NEDO助成事業)
- 水素と天然ガスを燃料とするコージェネレーションシステム開発実証事業の推進に向けて、公共施設への電気・熱供給システムの整備に産学官連携して取り組んでいます。(NEDO助成事業)
- 水素ステーションの整備促進・燃料電池の利活用促進を行っています。

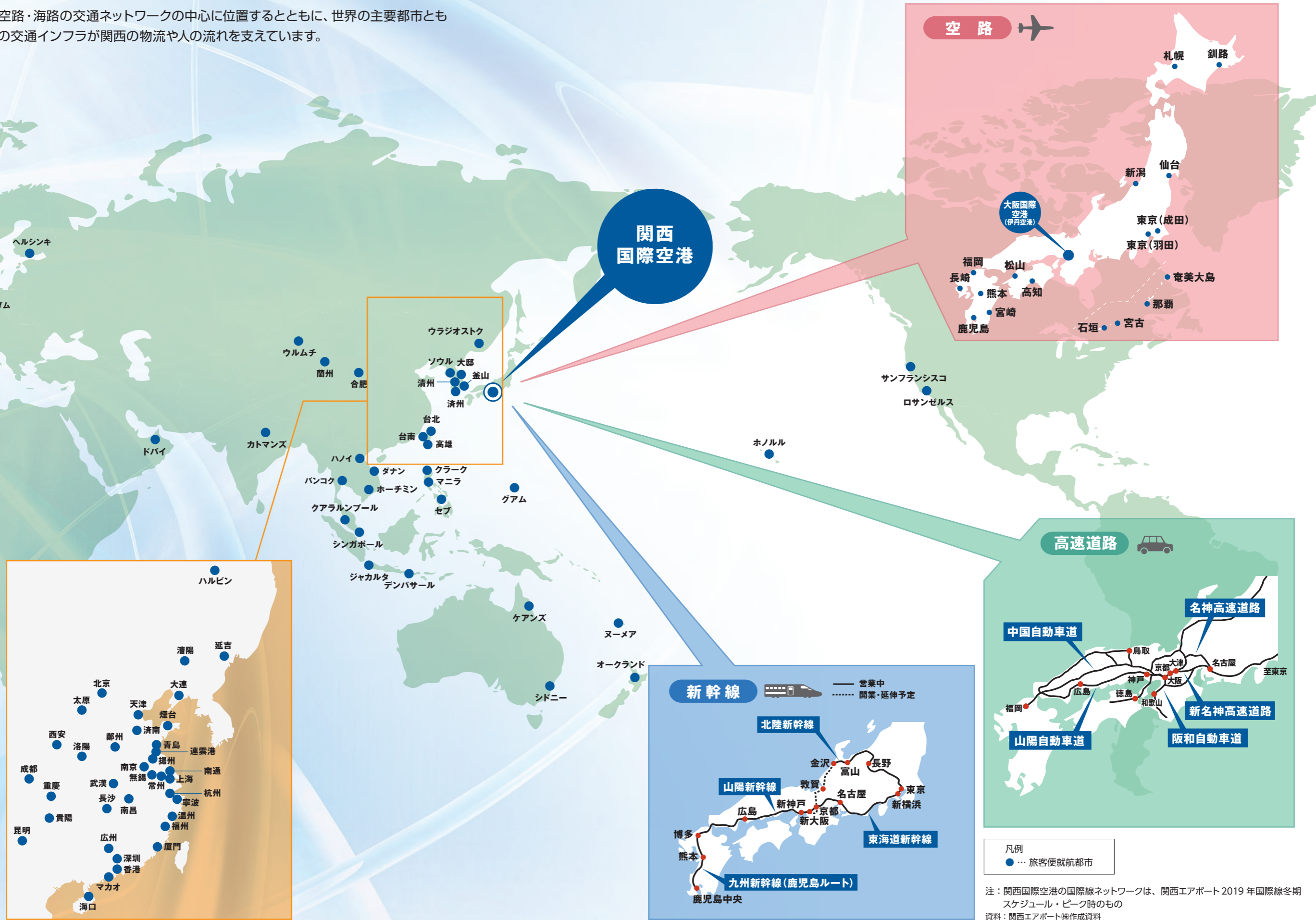


提供: HySTRA



関西の交通とアクセス

関西は、日本の陸路・空路・海路の交通ネットワークの中心に位置するとともに、世界の主要都市とも結ばれており、これらの交通インフラが関西の物流や人の流れを支えています。



関西国際空港

空路



高速道路



新幹線



— 営業中
- - - 開業・延伸予定

凡例
● … 旅客便就航都市

注：関西国際空港の国際線ネットワークは、関西エアポート2019年国際線冬期スケジュール・ピーク時のもの
資料：関西エアポート作成資料

グローバルバイオコミュニティの形成をめざす バイオコミュニティ関西(BiocK)

BiocKは、内閣府認定のグローバルバイオコミュニティとして、関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムをつくるため、イノベーションの促進、ネットワーク形成促進、国内外への情報発信を推進しております。

関西には、醸造業や薬業など古くから連綿と続くバイオ産業の歴史があり、近年では、iPS細胞やがん免疫療法など世界のバイオ研究とその実用化をリードする成果が生まれています。

未来に向けて、環境問題、エネルギー、ヘルスケア、持続的一次生産システムなどの地球規模の社会課題に立ち向かうには、生物本来の力を活用するバイオファーストの発想と、ネットワーク型オープンイノベーションの推進が必須です。

BiocKは、バイオ関連の企業、ベンチャー、アカデミア、研究機関、金融機関、行政、各種プロジェクトなどが持つポテンシャルを結集させて、世界・日本の社会課題を解決するためのニーズドリブンの流れを作っていきたいと考えており、その基盤となるコミュニティの役割を果たします。

「[集積]から[連携]へ / つなぐ、つなげる、つながる」を合言葉に、関西が、社会に役立つバイオ技術の国内外への発信源となることをめざします。



環境エネルギー



ヘルスケア



食・農業



医療

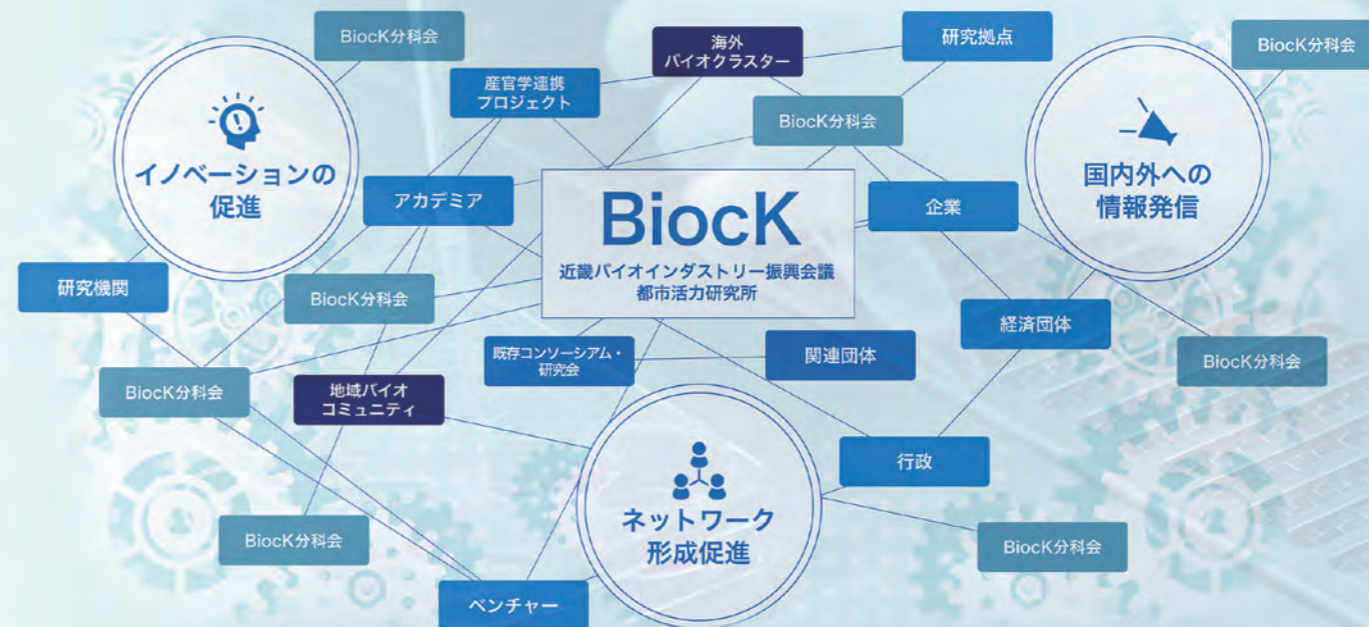


スタートアップ



バイオプラスチック

「集積」から「連携」へ / つなぐ、つなげる、つながる



日本有数の研究開発型スタートアップの地 ディープテックバレー“KANSAI”

関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力があります。関西は、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することをめざします。

特に、高度な研究開発力が生み出す革新的技術により世界の課題解決を図る「ディープテック」の分野において、関西は大学・企業・人材等の集積を強みに、バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、マニファクチャリング、情報・AI・ロボティクス等、様々な領域の技術シーズが日々磨かれています。



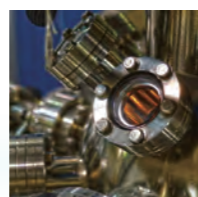
バイオ



ヘルスケア



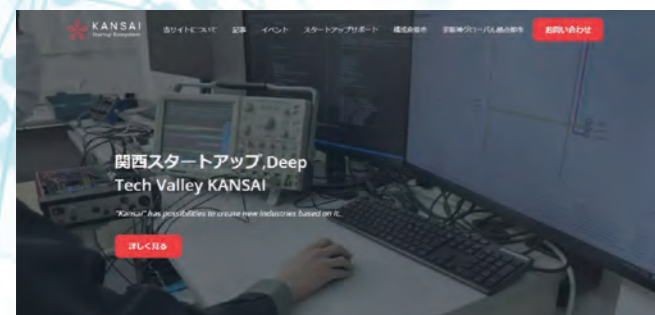
ライフサイエンス



マニファクチャリング



情報・AI・ロボティクス



“Kansai” has possibilities to create new industries based on it.

Point

関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース(スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等)の集積を可能とするブランドを確立することで、関西経済の活性化をめざします。



Detail

「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」では、情報発信戦略を策定し、総合窓口としてポータルサイト「関西スタートアップ・エコシステム」を運営しています。各構成府県市の紹介電子パンフレットをはじめ、スタートアップ支援情報やイベント情報など多彩なコンテンツにより国内外のメディアに対する情報発信の強化を図っています。

KANSAI Startup Ecosystem ポータルサイト



我が国・関西が直面する課題

- ・高齢化
- ・人口減少
- ・感染症(新型コロナウイルス)
- ・イノベーション創出(国際競争力低下)
- ・気候変動
- ・住み続けられるまちづくり

